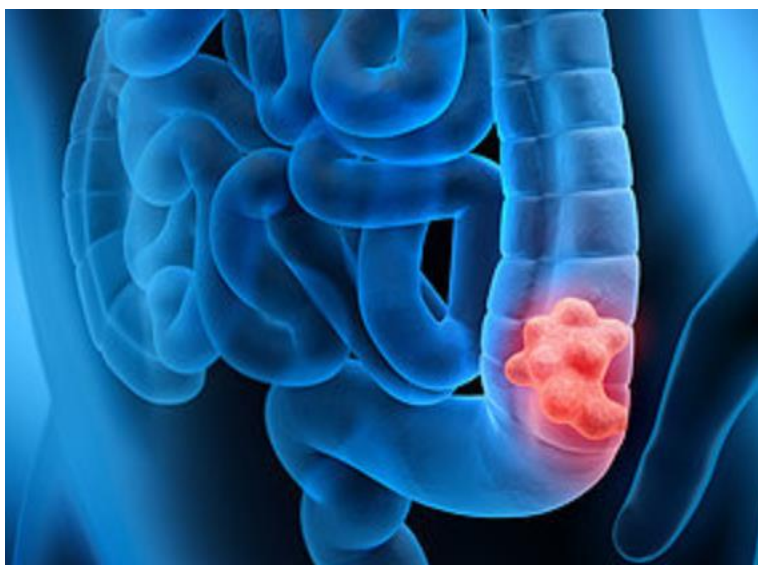


大腸ポリープ摘除後の大腸がん リスクと大腸内視鏡検査

University of Pittsburgh の Click らは、大腸内視鏡検査で大腸ポリープ（腺腫）を摘除した人の長期的な大腸がんリスクについて JAMA 誌に報告しました。



中央値 12.9 年の追跡期間で、進行腺腫を有した参加者では 10,000 人年あたり 20.0 件の大腸がん発症がありました。



腺腫なしの場合と比して、進行腺腫の存在は有意な大腸がん発症リスクとなり（リスク比 2.7）、大腸がん死亡のリスク増とも関連しました（リスク比 2.6）。